

令和6年度 姫路市スマート市民農園改善事業



遠隔農作業オペレーターガイド

事業運営：合同会社LTF

事業詳細

1.業務名

姫路市スマート市民農園改善業務

2.業務目的

スマート市民農園事業の農業ロボット「FarmBot」5台を使い、事業に参加協力していただける外出困難者を募り、協働して事業改善を実証する

①農園施設の運用改善

- ・FarmBotの運用、環境モニタリング装置の活用
- ・野菜栽培の作業効率、品質、収穫量の向上

②障がい者へ農業体験プログラム

- ・研修、栽培作業のサポート体制

③スマート市民農園事業の情報発信

- ・アグリテック甲子園における業務成果の報告
- ・情報媒体を通じての事業紹介

事業運営・活動

■事業体制

遠隔操作オペレーター、現地作業サポーター、運営バックアップの運営体制で農園の管理、野菜栽培をしていきます。

■活動期間

令和6年8月～12月

※令和7年1月に開催予定の「アグリテック甲子園」にて成果発表を行う予定です

■野菜の栽培

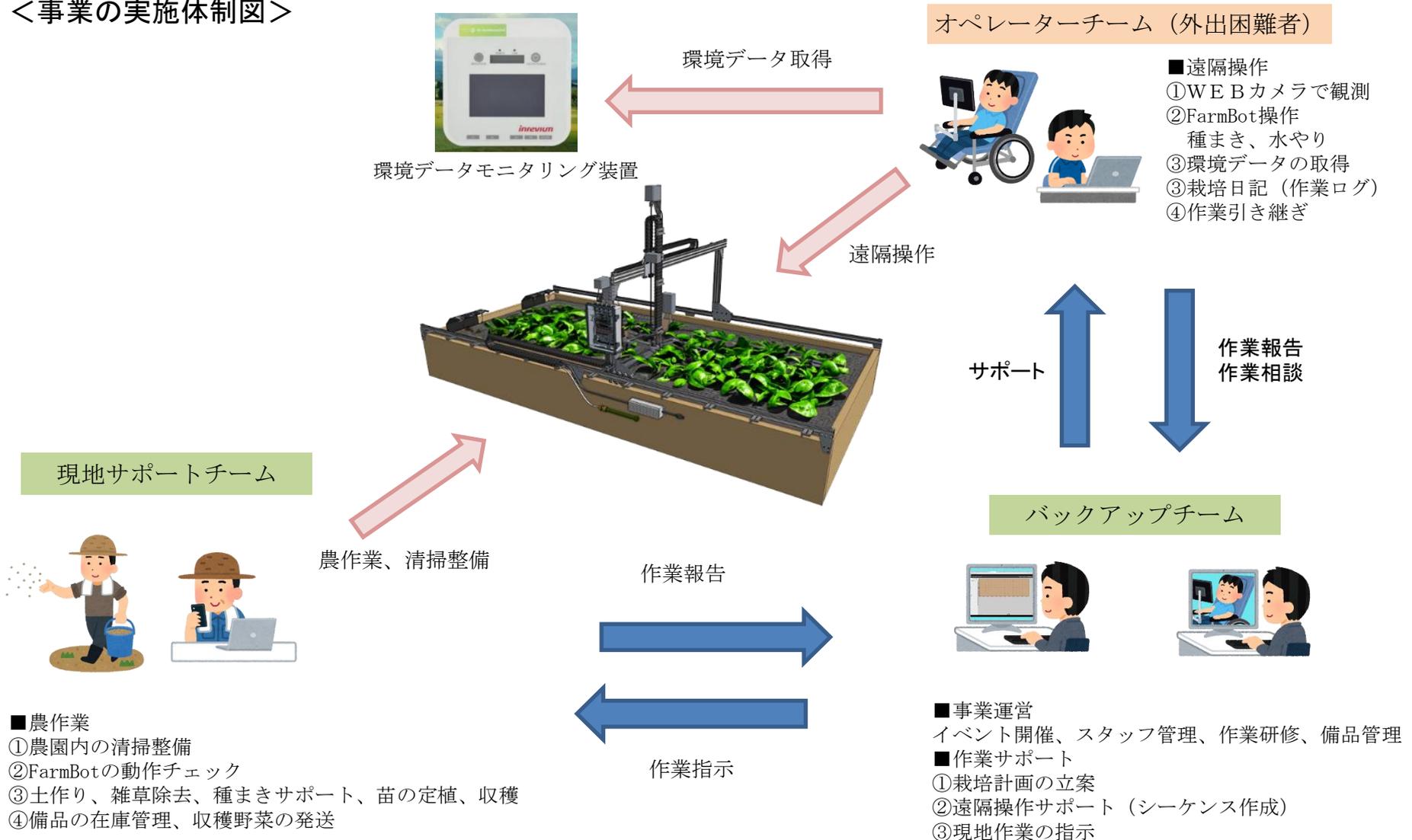
一期 8月末～10月

二期 10月末～12月

畑(5区画)ごとに栽培する野菜、方法を変えていきます。

運営体制図

<事業の実施体制図>



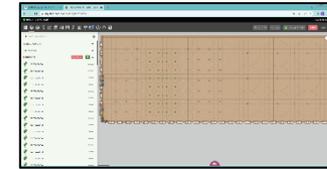
オペレーター作業

■WEBカメラ観測



ライブカメラで野菜、畑周辺を観測します。
土の状態を見て、水やりを加減したり、
野菜の成長を栽培日記に記録します。

■FarmBot操作



専用アプリ:ファームデザイナーでFarmBotを
遠隔操作します。
作業:種まき、水やり

■環境モニタリング



e-kakashi

※e-kakashiはソフトバンク(株)の
環境モニタリング装置です。

「e-kakashi」を用いて、温度・湿度・日照量・
土壌水分量を測定します。取得したデータ
は栽培日記に記録します。

■作業報告書



一日の作業終了後、栽培日記をつけます。
観測、環境データ、作業の様子を記録しま
す。日記は事業成果として市に提出します。

オペレーター作業

■オペレーターの1日

①体調チェック

•ご自身の体調を確認し、不調のときは作業休みの連絡をする。

②作業開始の報告

•作業開始を知らせる報告をしてください。

③遠隔作業

- ライブカメラ観測
- Farmbot操作(水やり)
- 環境データ取得

④作業報告書の作成

•担当した作業、野菜・農園の様子、感想を記録する。

⑤作業完了の報告

•作業完了を知らせる報告をしてください。

オペレーター作業

○作業ローテーション方式

本事業では姫路スマート市民農園の畑5区画で野菜栽培をします。各畑にはFarmbot1機、ライブカメラ2機、e-Kakashi 1機を備えてあります。オペレーターの皆さんには毎日3～5名が担当する畑を入れ替わり、作業をしていただきます。

作業シフト表

◆今月の作業シフト表

8月	6号機	7号機	8号機
1日			
2日			
3日			
4日			
5日			
6日			
7日			
8日			
9日			

弊社ホームページから作業シフト表を確認することができます。

ご都合により参加できない日ができたり、体調により当日休みたいときはご連絡ください。

サポート体制

○研修

内容: 事業の説明
担当作業の説明
ファームデザイナーの操作
E-KAKASHIの操作
WEBカメラの操作
栽培する野菜の説明

教材: ドキュメントファイル
説明動画

実習: FarmBot、E-KAKASHI、WEBカメラ
を実際に操作していただきます。

○事業期間

オペレーター作業の質問、作業のお休み連絡などは弊社ホームページに特設した「オペレータールーム」からお問合せいただけます。
またお電話でのご対応も可能です。

【TEL】

03-6868-7003

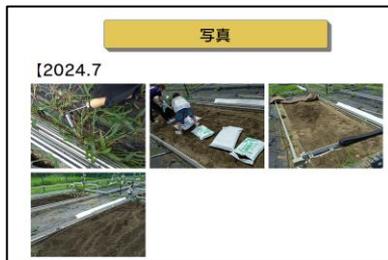
受付期間: 10:00～17:00(土日・祝日除く)

サポート体制

○オペレータールーム



弊社ホームページ内の特設ページです。
入室パスワードを送らせていただきます。



■サービス

- ・栽培計画
- ・作業説明
- ・作業シフト表
- ・お問い合わせ
- ・作業日記の閲覧
- ・写真ギャラリー
- ・農園の動画